

中国環境監査チェックリスト（国家法規）日本語版サンプル



20xx年xx月更新 第x版

No.	当該法規	条文番号	項目	チェック事項	参考リンク		
					法律	施行令	施行規則
環境保護法							
1	中華人民共和国環境保護法 1989年12月26日採択 2014年4月24日改正 2015年1月1日施行	-	・環境保護責任制度の構築 ・汚染物質排出管理 ・突発事件対応 ・化学物質管理	環境保全や保健衛生、持続可能な社会、経済発展のため、企業の事業活動に伴う汚染物質の排出、排気ガス、廃液、汚泥、廃棄物の抑制、化学物質の使用、保管などの環境管理活動並びに騒音、振動など労働安全衛生に関する管理活動について規定し、その対応や許認可制度について定めている。 運用規則に対するチェック事項は、各環境側面ごとに記載しているため、各項目を参照されたい。	原文リンク		
2	環境保護図形標識 実施細則（実行） 1996年7月1日施行	4	環境保護図形標識札の設置	污水排出口（源）及び固体廃棄物の貯蔵（処理）場は、規範化・整備を実行すると同時にこれに相応する環境図形標識札を設置しているか。	原文リンク		
		5 6	環境保護図形標識札設置の要求	環境保護図形標識札を設置しているか。 環境保護図形標識札は、汚染物質排出口（源）から比較的近く、かつ、目立つ場所に設置しているか。			
		9 12	環境保護図形標識札の維持・保護	法により設置された環境保護図形標識札を維持・保護しているか。			
		10 11 15	環境保護図形標識札の登記	法により標識を設置すると同時に登記証を記入しているか。 排出口の位置及び汚染物質の種類等に変化があるときに遅滞なく当該地の生態環境部門に報告し、審査認可を経た後に標識札及び登記証の相応する内容を変更しているか。			
3	中華人民共和国環境保護税法 2018年1月1日施行 10月26日改正	2 3 4	納税行為	汚染物質排出企業は、法に従って環境保護税を納付したか。	原文リンク		
		8 9 10	汚染物質の測定方法	汚染物質の排出量を測定しているか。 ・排出口ごとに、大気汚染物質につき、汚染当量数値が大きい順に従い、上位3位から環境保護税を徴収する。 ・本法の附表の《課税対象汚染物質及び当量数値表》に従い、第一類及びその他に分類し、当量数値の大きい順に従って、上位5位から環境保護税を徴収し、またその他の上位3位から環境保護税を徴収する。 ・測定方法は以下の通りである。 （1）汚染物質自動測定設備を設置、測定、（2）監視機関がデータ提出、算定、（3）国務院環境部主管部門が算定、（4）生態環境部がサンプル抽出、算定			
		13	税金減免	汚染物質濃度が国及び地方の基準を下回る場合、税金を減免することができる。 ・排出汚染物質濃度が国及び地方基準の30%を下回る場合、環境保護税の75%を徴収する。 ・排出汚染物質濃度が国及び地方基準の50%を下回る場合、環境保護税の50%を徴収する。			

4	<p>環境保護税法実施条例 2018年1月1日施行</p>	6	<p>納税者（汚染物排出者）が処罰される場合</p>	<p>本条の定める違法行為があるか。 納税者に下記一つに該当する状況がある場合、当期の課税対象固体廃棄物発生量を固体廃棄物排出量とする。 (1) 不法に固体廃棄物を投棄する場合。 (2) 虚偽な確定申告がある場合。 課税対象大気汚染物、水汚染物の税金算定根拠は、汚染物排出量に対応する汚染当量で確定する。 納税者に下記一つに該当する状況がある場合、当期の課税対象大気汚染物、水汚染物の発生量を汚染物排出量とする。 (1) 法によって汚染物自動モニタリング設備を据え付けなかったり、汚染物自動モニタリング設備を環境部門のシステムとインターネット接続しなかった場合。 (2) 汚染物自動モニタリング設備を毀損したり、無断に移動し、変更した場合。 (3) 汚染物モニタリングデータを改ざん、偽造した場合。 (4) 下水配管、排水穴を通じた注入、または希釈による排出、汚染予防施設の不適切な利用により、汚染物を排出した場合。 (5) 税金の虚偽申告がある場合。</p>		<p>原文リンク</p>	
---	--	---	----------------------------	--	--	------------------------------	--

大気

11	<p>大気汚染防止・処理法 2018年10月26日修正・公布</p>	18	<p>建設プロジェクトにおける環境影響評価等</p>	<p>大気環境に影響のある建設プロジェクトについて、環境影響評価を行い、かつ、環境影響評価文書を公開しているか。 大気に汚染物質を排出する場合には、大気汚染物質排出標準に適合し、かつ、重点大気汚染物質の排出総量規制要求を遵守しているか。</p>	<p>原文リンク</p>		
		19	<p>汚染物質排出許可証（排污許可証）の取得</p>	<p>工場排気又は有毒・有害大気汚染物質を排出する場合に、汚染物質排出許可証を取得しているか。</p>			
		24 26	<p>工場排気及び有毒・有害大気汚染物質のモニタリング</p>	<p>国の関係規定及び規範に従いモニタリングを行い、かつ、記録を保管しているか。 重点汚染物質排出事業者である場合には、自動モニタリング設備を設置し、生態環境主管部門のモニタリング設備と連動して適切に排出情報を公開しているか。 モニタリング設備は正常に稼働しているか、又は無許可で移動・改造していないか。</p>			
		27	<p>稼働停止制度の遵守</p>	<p>大気環境を重大に汚染する工程、設備及び製品を所定の期限までに処分しており、他人に譲渡し使用させていないか。</p>			
		35 37 41	<p>石炭・石油の使用</p>	<p>石炭、ばた、石炭の燃え殻及び石炭灰等を保管する際に、防燃措置を施しているか。 基準に適合しない石炭及び石油コークスを輸入・使用していないか。 清潔生産工程を採用し、除塵、脱硫、脱硝装置を設置、又は技術改造を行う等の措置を講じているか。</p>			
		40	<p>ボイラーの使用</p>	<p>環境保護標準又は要求に適合しないボイラーを使用していないか。</p>			
		43 48	<p>生産過程における粉塵等への対応等</p>	<p>鉄鋼、建材、金属、石油、化学等の事業者該当し、生産工程で粉塵、硫化物及び窒素酸化物を排出する場合には、清潔生産工程を採用し、除塵、脱硫、脱硝装置を設置、或いは技術改善等の措置を講じているか。 上記事業者等に該当する場合、集中収集処理等によって、粉塵及びガス状汚染物質の排出を管理しているか。 上記を含むすべての生産事業者に対する義務事項として、密閉、遮蔽、清掃及び散水等によって製品・材料の保管、移送、運搬等で生ずる粉塵及びガス状汚染物質の排出を抑制しているか。</p>			
		44 45 47	<p>揮発性有機物及び有機溶剤を使用する場合の対応</p>	<p>揮発性有機物の含有量が標準又は要求に適合する原材料及び製品を使用しているか。 揮発性有機物を含む排気が生ずる場合、密閉された空間又は設備の中で生産し、かつ、汚染防止・処理施設を設置しているか。密閉できない場合には、排気の排出を減少させる措置を講じているか。 有機溶剤を使用する場合、パイプライン、設備に漏洩防止措置を講じているか。漏洩した場合、遅滞なく回収しているか。</p>			
49	<p>生産過程で発生した可燃性ガスの処</p>	<p>生産過程で発生する可燃性ガスを回収して利用しているか。回収できない場合は、汚染防止処理を行っているか。 回収利用装置が正常に作動しなくなった場合には、直ちに修復し、又は更新しているか。</p>					

汎用チェック項目170超～(全20頁)

中国环境合规审查表（国家法规） 中文版SAMPLE



20xx年xx月更新 第x版

No.	法规	法条	项目	审核内容	参考链接		
					法规	行政法规	部门规章等
环境保护法							
1	中华人民共和国环境保护法 1989年12月26日通过 2014年4月24日修订 2015年1月1日起施行		<ul style="list-style-type: none"> 构建环境保护责任制度 污染物排放管理 突发事件对应 化学品管理 	<ul style="list-style-type: none"> 为了环境安全及保健卫生、可持续发展社会及经济发展，针对伴随着企业经营活动出现的污染物排放、排气、废水、污泥、减少废弃物、化学品的使用及管理环境管理活动以及噪音、震动等劳动安全卫生相关的管理活动进行规定，并规定额上述内容的对应方法及行政许可制度。 实际操作中的各种合规要求内容记载于各个单独法规中，请具体参照。 	参考链接		
2	环境保护图形标志 施行细则（试行） 1996年7月1日起施行	4	设置环境保护图形标志牌	污染物排放口（源）和固体废物储存（处置）场，是否在实行规范化整治的同时，设置与之相应的环境图形标志牌	参考链接		
		5 6	环境保护图形标志牌设置的要求	是否依照法律法规规定设置环境保护图形标志牌 环境保护图形标志牌是否设置在距离污染物排放口（源）较近且醒目处，并能长久保留。			
		9 12	环境保护图形标志牌的维护	是否依法对设置的环境保护图形标志牌进行维护			
		10 11 15	环境保护图形标志牌的登记	是否依法在立标的同时填写登记证 排污口位置和污染物种类等有变化时，是否及时报告当地生态环境部门，经批准后变更标志牌和登记证相应的内容。			
3	中华人民共和国环境保护税法 2018年1月1日施行 2018年10月26日修正	2 3 4	应税行为	向环境中排放应税污染物的企业，是否依照法律规定缴纳环境保护税	参考链接		
		8 9 10	污染物计算方法	是否测算污染物当量数 每一排放口或者没有排放口的应税大气污染物，按照污染当量数从大到小排序，对前三项污染物征收环境保护税。 每一排放口的应税水污染物，按照本法所附《应税污染物和当量值表》，区分第一类水污染物和其他类水污染物，按照污染当量数从大到小排序，对第一类水污染物按照前五项征收环境保护税，对其他类水污染物按照前三项征收环境保护税。 按照以下方法测算 （1）设置、测算污染物自动测定设备（2）监控机构提出、算定（3）国务院环境部主管部门算定（4）生态环境部抽查、算定			
		13	税收减免	排放污染物浓度值低于国家和地方规定的，可减按征收 <ul style="list-style-type: none"> 污染物浓度值低于国家和地方规定30%的，减按75%征收 污染物浓度值低于国家和地方规定50%的，减按50%征收 			

4	环境保护税法实施条例 2018年1月1日起施行	6	处罚纳税人	<p>是否有本条规定的违法行为</p> <p>纳税人有下列情形之一的，以其当期应税固体废物的产生量作为固体废物的排放量：</p> <p>(一) 非法倾倒应税固体废物；</p> <p>(二) 进行虚假纳税申报。</p> <p>应税大气污染物、水污染物的计税依据，按照污染物排放量折合的污染当量数确定。</p> <p>纳税人有下列情形之一的，以其当期应税大气污染物、水污染物的产生量作为污染物的排放量：</p> <p>(一) 未依法安装使用污染物自动监测设备或者未将污染物自动监测设备与环境保护主管部门的监控设备联网；</p> <p>(二) 损毁或者擅自移动、改变污染物自动监测设备；</p> <p>(三) 篡改、伪造污染物监测数据；</p> <p>(四) 通过暗管、渗井、渗坑、灌注或者稀释排放以及不正常运行防治污染设施等方式违法排放应税污染物；</p> <p>(五) 进行虚假纳税申报。</p>			参考链接
---	----------------------------	---	-------	---	--	--	----------------------

大气

11	大气污染防治法 2018年10月26日修正公布	18	建设项目环境影响评价等	<ul style="list-style-type: none"> 对大气环境产生影响的建设项目须进行环境影响评价并公开环境影响评价文件。 排放大气污染物时须符合大气污染物排放标准，且遵守重点大气污染物质排除总量规则的要求。 	参考链接	
		19	取得排污许可证	<ul style="list-style-type: none"> 工厂排放废气或有毒有害的大气污染物时须取得排污许可证。 		
		24 26	建设项目环境影响	<ul style="list-style-type: none"> 对大气环境有影响的项目，是否依法进行环境影响评价、公开环境影响评价文件。 向大气排放污染物的，是否符合大气污染物排放标准，遵守重点大气污染物排放总量控制要求。 		
		27	排污许可证	<ul style="list-style-type: none"> 排放工业废气及有毒有害气体是否取得排污许可证。 		
		35 37 41	工业废气有毒有害气体污染物监测	<ul style="list-style-type: none"> 是否按照国家有关规定和监测规范，对其排放的工业废气和有毒有害大气污染物进行监测，并保存原始监测记录。 重点排污单位是否安装、使用大气污染物排放自动监测设备，与生态环境主管部门的监控设备联网，保证监测设备正常运行并依法公开排放信息。 是否侵占、损毁或者擅自移动、改变大气环境质量监测设施和大气污染物排放自动监测设备。 		
		40	淘汰制度	<p>是否依法在规定期限内停止生产、进口、销售或者使用列入规定目录中的设备和产品。</p> <p>是否将淘汰的产品设备，非法转让他人。</p>		
		43 48	煤炭、燃油的利用	<ul style="list-style-type: none"> 存放煤炭、煤矸石、煤渣、煤灰等物料，是否采取防燃措施，防止大气污染。 是否进口、销售和燃用不符合质量标准的石油焦。 是否采用清洁生产工程，是否同时配置除尘、脱硫及脱硝设施或进行技术改造等。 		
		44 45 47	锅炉使用	<p>是否使用符合环境保护标准的石油。</p>		
49	粉尘等处理	<ul style="list-style-type: none"> 钢铁、建材、有色金属、石油、化工等企业生产过程中排放粉尘、硫化物和氮氧化物的，是否采用清洁生产工艺，配套建设除尘、脱硫、脱硝等装置，或者采取技术改造等其他控制大气污染物排放的措施。 是否加强精细化管理，采取集中收集处理等措施，严格控制粉尘和气态污染物的排放。 				

汎用チェック項目170超～(全20頁)